

分類：基礎医学アドバンストコース

授業科目名：分子機能学・代謝機能学（Biochemistry and Metabolism）

対象学年：2年次選択

時間割コード：71564008

開設学期等：第31週～第31週

単位数：1

1. 主任教員

小泉幸央（助教、分子機能学・代謝機能学講座、6075）

2. 担当教員

小泉幸央（助教、分子機能学・代謝機能学講座、6075）

安 健博（助教、分子機能学・代謝機能学講座、6075）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい（大まかな全体目標）

臨床現場で必要となる正常な生体機能および疾患の原因を修得して診療を実践していくために、生体分子の代謝とシグナル伝達による生理機能制御および病態生理における役割についての理解を深める。また、リサーチマインドを滋養し、プレゼンテーション能力を高める。

概要（大まかな学習目標・項目）

1. 転写因子と炎症シグナルを概説できる。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

2. 生理活性物質とシグナル伝達を概説できる。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

4. 教科書・参考書

無し

5. 成績評価の方法

レポート、出席、その他（プレゼンテーション内容等）により行う。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

生化学の代謝に関する成書を読み込んでもらい、各自でパワーポイントを使ったプレゼンテーションを行っていただきます。基礎研究に関する発表やセミナーを聞いてもらい、研究というものに触れてもらう機会とします。

受け入れ予定学生数：20名程度

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	12月4日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：ガイダンス	小泉幸央 安 健博	総合研究棟 5 講
2	12月4日 (月)	3-10 時限	講義	テーマ：転写因子と炎症シグナル 転写因子と炎症シグナルを概説できる。	安 健博	総合研究棟 5 講
3	12月5日 (火)	1-10 時限	講義	テーマ：生理活性物質とシグナル伝達 生理活性物質とシグナル伝達を概説できる。	小泉幸央	総合研究棟 5 講
4	12月6日 (水)	1-10 時限	講義	テーマ：未定		総合研究棟 5 講
5	12月7日 (木)	1-10 時限	講義	テーマ：未定		総合研究棟 5 講
6	12月8日 (金)	1-10 時限	講義	テーマ：未定		総合研究棟 5 講